

時三〇分（評議員会）は、経団連会館で開催することになる。

日本医学学会

〒一〇一 東京都千代田区神田駿河台二一五

日本医師会館内 電話〇三二九一―二二二一（代表）

「帝王切開術発祥の地」記念碑建立

記念碑除幕式

秩父の伊古田純道と飯能の岡部均平が、日本で最初に帝王切開術を実施したのは、嘉永五年（一八五二）六月十二日（旧暦四月二十五日）である。この日から一三五年に当る昭和六十二年（一九八七）六月十二日、埼玉県飯能市で記念碑除幕式と式典が行われた。

当日、午後二時より本橋源次氏宅敷地内（飯能市大字坂元一二九八）の一角に建てられた「帝王切開術発祥の地」記念碑除幕式には、伊古田純道、岡部均平、手術を受けた本橋みとの子孫、埼玉県の教育委員会、医師会、産婦人科学会、医史学会、マスコミなどの関係者五〇名あまりが参列して、記念会の酒井シヅ実行委員の司会で進行了た。

まず、石原力実行委員長の開式の辞と西田芳治実行委員の経過報告に続いて、本橋家子孫の本橋綾子さん、岡部家子孫の岡部貴史さんの手で碑の幕が取り除かれた。

除幕後、大島蘭三郎記念会会長が「山奥の辺鄙な場所日本で最初帝王切開術が行われたことは誠に意義深いものがある」と挨拶し、ついで飯塚理八記念会副会長が「（二人の先人が）敢然として帝王切開を本邦最初に行いまして、産婦を救命し得たことは誠に欣然かつ肅然たる思いであります」と産婦人科医としての感慨を語った。

記念会側の挨拶の後、碑の文字「本邦帝王切開術発祥之地」を揮毫された石川正臣日本医科大学名誉学長が「碑がいつまでも朽ちることなく輝きを持って、わが国の多くの医師、あるいは医学を学ぶ人々に大きな力を及ぼしていただきたいと願うしだいです」と祝辞を述べ、石井晃飯能地区医師会会長が「私も住民はもちろん、医師会といたしましても、記念碑を大切に、しかも誇りを持っていきたいと考えている」と数少ない医学の記念碑が地元でできた喜びを語った。

また井上久秩父郡市医師会会長は「会員の間で、伊古田先生の事蹟、岡部先生の事蹟をさらに調べようという気運が非常に盛り上ってきた」と碑建立の効果を話し、碑の建立地を提供された本橋源次氏は「ここで眠っている祖先は驚いているのではないかと。祖先ともども御礼申し上げます」と謝辞を表した。

続いて藤間利行埼玉県産婦人科医会前会長は「ただたんこの碑が『帝王切開術発祥の地』であることを示すに留まらず、ここに刻まれたレリーフからも、伊古田・岡部両医師のかつての姿を思い浮かべ、私たちに強い医師としての原点、あるいは新しい医療技術の開発・習得についての基本的な心構えをお示しくださいたいように思われて本当に感激です」と碑の意義深さを語っていた。

最後に蔵方宏昌実行委員が閉式の辞を述べて除幕式は終った。

記念式典・パーティ

除幕式終了後、会場を飯能市富士見公民館に移し、午後四時より記念式典とパーティが石井昭雄西武産婦人科小児科病院院長の司会で行われた。

野々宮高成飯能市教育長が「当市ならびに教育委員会は、郷土に誇る記念碑をいただき厚く御礼申し上げます」と閉会の辞を述べ、続いて大島蘭三郎会長が「広く多くの方々にお願いの辞を述べ、寄付金を集めることができました。これもひとえに伊古田純道先生らの偉業と遺徳である和我々は子々孫々にまで伝えねばならない」と謝辞を述べた。また石原力実行委員長も経過報告とともに目標額を越えて六一〇口、七二万円の寄付金が集ったことに對して謝意を表した。

続いて、福島茂夫埼玉県医師会会長、飯塚理八日本産婦人科学会前会長が祝辞を述べ、丸山正義日本医師会常任理事が羽田春免日本医師会会長の祝辞を、真田幸一日本母性保護医協会常務理事が森山豊日本母性保護医協会会長の祝辞を代読した。

終りに市川宗貞飯能市市長、内田全一秩父市市長、伊古田純道の子孫中島泰氏が挨拶し、いずれも縁のある記念碑を作ってくれたことに對して謝意を述べていた。

祝辞に続いて、記念碑建立の土地を提供された本橋源次氏、石碑を作った村田石材工業、レリーフを製作した立体写真真像株式會社へ感謝状贈呈があり、小西吉久秩父市教育長の閉会の辞で式典

が終りパーティに移った。

記念講演会・資料展示会

除幕式に先立つ四月二十五日、午後二時から順天堂大学有山記念講堂で記念講演会と資料展示会が開かれた。

大塚恭男実行委員の司会で、大島蘭三郎記念会会長の挨拶の後、飯塚理八記念会副会長が「帝王切開術について」と題して、現代の帝王切開をめぐる実情について講演。

続いて、石原力実行委員長が「嘉永年間に行われた本邦最初の帝王切開術」と題し、スライドを供覧しながら、最初の帝王切開術に至る過程と伊古田純道の手記に基づいた帝王切開術の内容とを詳細に解説した。

最後に、西田芳治実行委員が史料を紹介しながら「術者伊古田純道と岡部均平の生涯」を話した。

またロビーでは、伊古田純道自筆の『子宮截開術実記』や『撒羅滿氏産論抄書』など三九点の關係資料を展示した。

記念誌発行

これら除幕式や式典の様子、講演内容、展示資料目録などを集載した『帝王切開術発祥の地記念會誌』がこのたび発行され、記念事業に協力された方々に配布された。

(蔵方 宏昌)